

## 令和元年度第1回池田市行財政改革推進委員会 議事要旨

【と き】 令和元年8月22日（木） 午後2時00分～午後3時30分

【ところ】 池田市役所 4階 大阪府小会議室

【出席者】

■委員：中川会長、村瀬副会長、蒲生委員、高島委員、井尻委員、牛嶋委員

■事務局：富田市長、高木市長公室長、衛門総合政策部長、藤井人事課長、  
森本財政課長、岩下行財政改革推進課長、行財政改革推進課河北副主幹、  
行財政改革推進課奥田主事

【傍聴者】 1名

【内 容】

### 1) 開会

＝事務局から配付資料の確認＝

### 2) 議事

池田市行財政改革推進プランⅡのまとめ(案)について

＝富田市長から中川会長に「池田市行財政改革推進プランⅡの計画期間を通じた取組に関する意見依頼書」を手交＝

＝事務局から配付資料について説明＝

＝質疑応答（抄録）＝

委員：4ページの健全化判断比率だが、平成29年度の将来負担比率は15.4%だったが、平成30年度の数値は3.0%まで低下している。これはどのように理解すればよいか。

事務局：将来負担比率が12.4%低下しているということなる。一般会計の借金残高、職員の退職金、公営企業への借金に対して一般会計が負担する額等の合計が将来負担額となるが、比率の算定にあたっては基金や地方交付税を将来負担額から差し引くことができる。平成29年度時点から財政調整基金残高が約2億円増加し、基金関係全体では約5億円増加した。また、地方交付税も増加しており、将来負担額からこれらの金額を差し引くことで、将来負担比率が改善した。

委員：10ページの「電子版広報いけだのリニューアル」について、取組実績に「外国語への対応」とあるが、翻訳言語の内訳は。

事務局：英語・中国語・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語の7か国語に翻訳されている。

委員：どの言語の利用が多い等の実績は。

事務局：利用言語の実績は不明であるが、利用件数は今後増加していくと見込んでいる。

委員：翻訳言語は在住外国人の居住比率に基づいて選択されているのか。

事務局：そうだと思う。

委員：まとめについては、難解な用語の注釈も記載されており、振り返りの一覧表も視覚的に理解しやすく、市民に理解を求めていることが伝わってくる内容で好感が持てた。一方で、取組によって達成、未達成の基準にばらつきが見られるため、達成状況の基準を作る必要があるのではないかと。13ページの「地域間交流推進事業の廃止」を達成したことは理解出来たが、事業を廃止し経過措置として新たな助成制度を設立したということで、今後市の方向性としてどうなるのかが分かりづらいため、丁寧な記載を求める。14ページの「ごみ収集・処理に係る経費の削減」だが、市民は実績が出ていることを知りたいので、33ページに記載している基準年度からのごみの削減量をこちらでも記入してはどうか。

事務局：地域間交流推進事業廃止後の市の方向性と効果については、表現が困難だったと思われる。ごみの削減の数字も記入も含め、記載内容を再度検討する。達成状況の基準については苦慮しているところ。定性的な目標よりも定量的な目標を設定し、達成または未達成を判断した方が市民には理解しやすい。しかし8ページの「す・KIDSいけだによる情報発信」のように、目標値に1名足りなかったため未達成と扱われ、施策自体が失敗だったという判断がなされるおそれもある。達成状況の基準を設けるのは難しいが、今後の課題であると思われる。プランII期間である4年間の全体的な達成効果を見ていただければ幸いである。

委員：達成状況についてももう少し具体的な内容を記入して欲しい。6ページの「みんなでつくるまち推進会議を開催し、市民参画及び協働について研究」の実績においての資料に記載の両会議とのつながりはあるのか。7ページの「地域防災リーダー

一養成講座の開催による防災活動に係る市民参画の推進」の取組実績の回数は足りないが、実績としては上がっているのか。8ページの「子育て支援情報サイト「す・KIDSいけだ」による情報発信」はほぼ達成出来ているが、登録後の活用状況実績等を記入した方がよい。9ページの「いけだフィルムコミッション事業の実施」は、今後継続するかどうかを記入すればよい。10ページの「電子版広報いけだのリニューアル」は、リニューアル後の読み手が増えたかどうかを記入すればよい。11ページの「外国人のための行政懇談会に実施」だがなぜ実績がゼロなのか判断等のコメントを聞きたい。15ページの「石橋プラザ賃借料の見直し」の今後の方向性は。16ページの「緑丘保育所の民営化」は民営化しての効果はどうだったのか。18ページの「敬老の里プロジェクト」はもう少し行財政改革に関わる説明を記入したほうがよい。21ページの「ふるさと納税制度の活用によるみんなで作るまちの寄付の事業」の今後の目標額は。23ページの「非正規職員の処遇等の適正化の検討」はどのような内容の検討をしたのか。

事務局：ご指摘の箇所は30年度に実施した取組内容を記載している。実績に伴っての影響と効果は「プランⅡ期間中の取組状況及び4年間の振り返り」の部分で具体的に記載が可能であり、数字で表せない実績についても記載する。

委員：30ページの「プランⅡ期間中の取組状況及び4年間の振り返り」は、肯定的な文面が多いが、未達成や取組不十分はなかったのか。

委員：（肯定的な記載が無い場合）取組効果が出ていないのかと思われるが、結果を記載するのは困難だったのではないのか。

委員：2ページの「めざす姿」のスクラップ&ビルドと各部が主体的に行財政改革に取り組む体制の構築の結果が見当たらない。総括的なまとめがあった方がよい。財政調整基金残高の53億の数字は目標値を大きく上回っているが、大きな事業の実施がなかったのではないのか。近いうちに何か事業があれば予断は許されないため、その記載も必要ではないのか。

委員：プランⅡの目標はすべて達成されており、評価している。財政調整基金は総合管理計画と関連付けて記入すればよい。改修工事のピークを記載することも必要。スクラップ&ビルド等の「質の行財政改革」を示せばよい。2ページの「市民参画の推進」をもっと頑張っていないといけない。地域自治協議会の話が出てこないし見えにくい状況である。地域自治を活性化することが本当の行革ではないのか。

事務局：「プランⅡ期間中の取組状況及び4年間の振り返り」で肯定評価が多いとのことだが、目標として効果は上げている。残りの課題についてはあらためて記載する。2ページの「めざす姿」は、総じてどのように終わったのかを記載する。プランⅡの総括をプランⅢに引き継ぐ形で対応できる。プランⅢは持続的な街の活性化も盛り込んでいる。

委員：13ページの「庁舎照明のLED化」で「不良品は都度交換を行った」と記載されているが、どのような行財政改革の効果があったのか。

事務局：LED化により電気料金の削減という目標を達成した。

委員：11ページの「外国人のための行政相談会の実施」の参加者がゼロなのはなぜか。女性専門員は外部なのか職員なのかどちらか。

事務局：職員はプロパーの人間だと思われる。相談会の周知はしているがこの結果になった。

委員：「4年間の振り返り」は、実施内容のみの記載であるため、課題があれば記載して頂きたい。

事務局：具体的な課題や今後の方針等が記載できるものについては記載する。

### 3) 事務連絡

事務局から委員会の今後の予定について説明

### 4) 閉会